

# データヘルス計画

## 第2期計画書

---

最終更新日：平成 30 年 10 月 05 日

住友重機械健康保険組合

# STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	27841
組合名称	住友重機械健康保険組合
形態	単一
業種	機械器具製造業

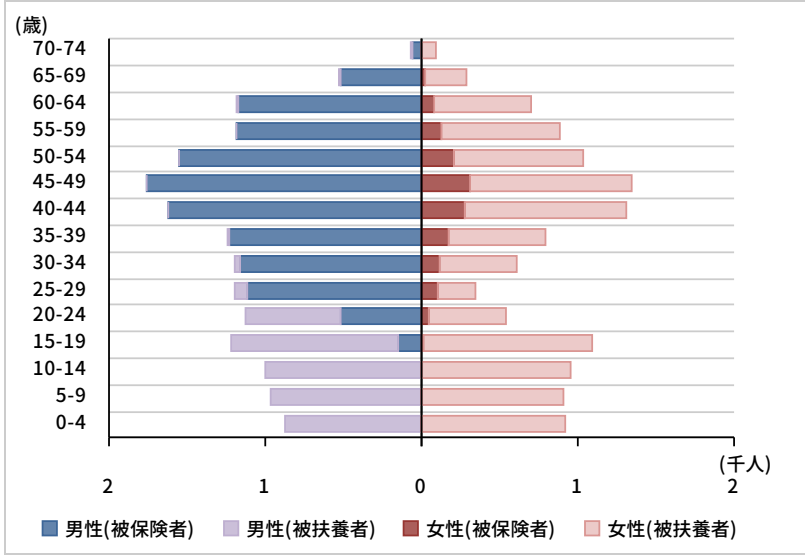
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	13,497名 男性89.1% (平均年齢44.8歳) * 女性10.9% (平均年齢44.1歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	28,503名	-名	-名
適用事業所数	57カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	557カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	97.0‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	1	8	-	-	-	-
	保健師等	7	0	-	-	-	-

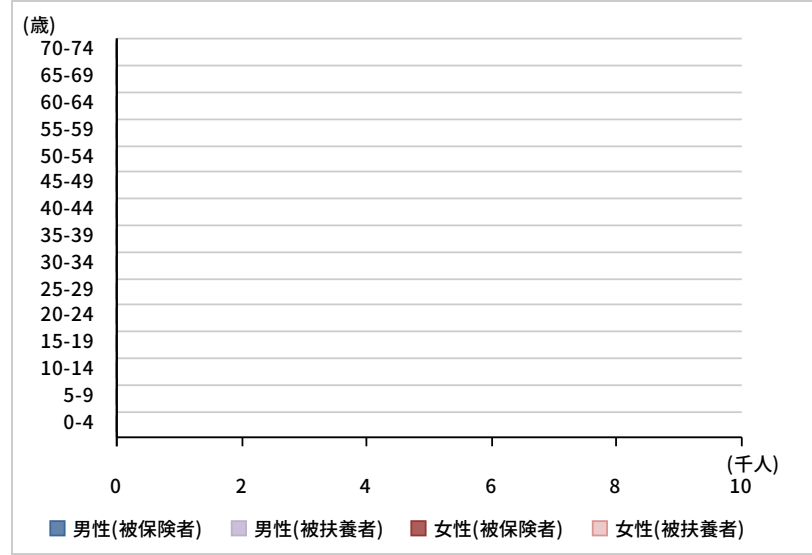
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	8,322 / 12,224 = 68.1 %	
	被保険者	6,275 / 8,078 = 77.7 %	
	被扶養者	2,047 / 4,146 = 49.4 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	212 / 1,726 = 12.3 %	
	被保険者	212 / 1,563 = 13.6 %	
	被扶養者	11 / 176 = 6.3 %	

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	49,381	3,659	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	24,308	1,801	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	5,133	380	-	-	-	-
	疾病予防費	212,211	15,723	-	-	-	-
	体育奨励費	1,800	133	-	-	-	-
	直営保養所費	71,025	5,262	-	-	-	-
	その他	11,597	859	-	-	-	-
	小計 …a	375,455	27,818	0	-	0	-
経常支出合計 …b	9,109,058	674,895	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	4.12		-	-	-	-	

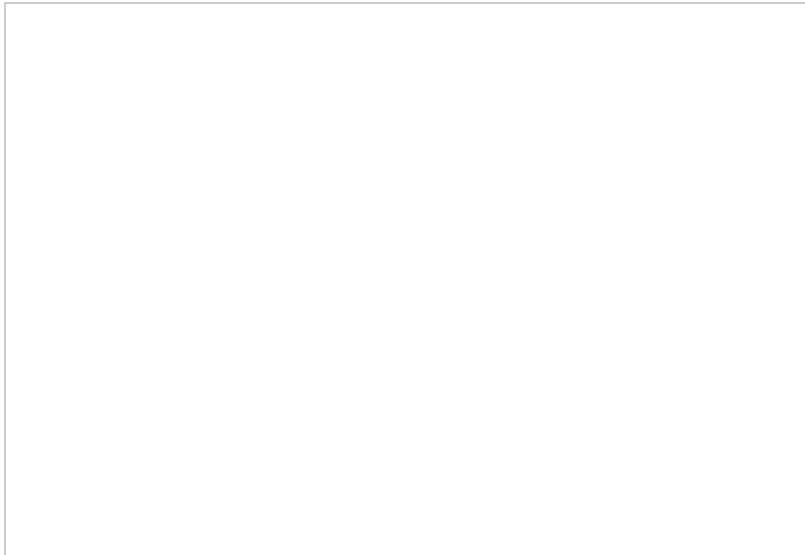
平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



## 男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	155人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	523人	25～29	1,110人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,159人	35～39	1,231人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,622人	45～49	1,760人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,550人	55～59	1,187人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1,174人	65～69	516人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	59人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	10人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	50人	25～29	104人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	115人	35～39	173人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	278人	45～49	305人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	211人	55～59	123人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	76人	65～69	24人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	876人	5～9	961人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	999人	15～19	1,066人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	613人	25～29	77人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	34人	35～39	10人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	9人	65～69	11人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	8人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	915人	5～9	904人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	952人	15～19	1,084人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	498人	25～29	236人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	490人	35～39	621人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1,030人	45～49	1,033人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	824人	55～59	760人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	624人	65～69	268人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	95人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

事業所数が多めなうえ、拠点数が更に細分化されて、全国に点在している  
被保険者の平均年齢が、比較的に高くなっている  
特定保健指導ができていない地区が限られている

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

事業所が多く拠点数が更に細分化され、全国に点在している。

被保険者の平均年齢が比較的高めとなっている。

特定保健指導ができていない地区が限られている。

各種健診の受診後のフォロー体制の確立が課題。

心筋梗塞や脳卒中等の循環器疾患による入院が多く、労働力が損なわれている。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌
保健指導宣伝	ホームページ

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	口腔健診
疾病予防	主婦健診
疾病予防	在宅がん検診
疾病予防	高齢者訪問指導
疾病予防	マップウォーキング
疾病予防	健康づくりサポートプログラム
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金支給
疾病予防	腹部超音波
疾病予防	乳がん検診
体育奨励	地区別健康づくり
直営保養所	仙石高原ピラ

#### 事業主の取組

1	健康診査
2	健康診断事後措置に伴う個別指導
3	従業員支援プログラム (EPA)

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	2	機関誌	【目的】健康情報発信及び健康意識の向上 【概要】機関誌(2回/年発行)の発行	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ (上限なし)	全員	3,088	機関誌 春(4月)秋(9月)の2回発行	利便的な内容と手作りな感じを心掛けている	読んでもらえる工夫、見てもらえる工夫作り	3
	2	ホームページ	【目的】健康情報の発信及び健康意識の向上 【概要】毎月の健康情報を発信	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ (上限なし)	全員	831	健康情報 頻度 (健康の贈りもの) 毎月更新	時節にふさわしい、タイムリーな情報を提供	対象情報の拡大	3
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健康診査	【目的】特定健診のデータを把握・活用して、生活習慣病予防と早期発見を行う 【概要】被保険者：事業主が行う定期検診と併せて共同実施 被扶養者・任継者：契約医療機関で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	40,002	受診者数 8,322名 受診率 全体 68.1% 被保険者 77.7% 被扶養者 49.4%	被保険者 未受診者を解消するため、数次にわたって受診勧奨を展開 被扶養者 多様に医療機関が選べるよう、契約先を全国レベルで案内	被扶養者の受診率が伸び悩みの状態 健診データのシステム取込時エラー解消が課題。	3
特定保健指導事業	-	特定保健指導	【目的】生活習慣病予防と健康増進のため、生活習慣改善に向けてサポートする 【概要】保健指導機関への外部委託で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ~ 74	基準該当者	16,749	実施者数 455名 実施率 12.3% 終了者数 212名 終了率 12.3%	就業時間内での保健指導面談を実施	被保険者：全事業所への展開と事業主の協力取り付け 被扶養者：未実施の解消と受診率向上	1
疾病予防	-	生活習慣病健診	【目的】生活習慣病の予防及び早期発見 【概要】循環器及び胃健診を定期健診に加えて同時実施	被保険者	全て	男女	35 ~ 65	基準該当者	73,397	35歳以上を対象に実施 受診者数 9,554名 受診率 99.6%	定期健康診断と同時に実施し、自己負担は無料 一次のフォローで二次健診についても実施	慣習的に実施してきたが、一定期間ごとの効果の検証が不足している。	4
-	-	人間ドック	【目的】がんや循環器系疾病等の早期発見・早期治療に向けて実施 【概要】被保険者及び被扶養者を対象に、健診費用のほぼ半額を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	13,442	受診者 835名(脳ドックを含む)	関心度が徐々に高まり、漸増傾向にある	健診結果の提出が徹底されていない	3
-	-	口腔健診	【目的】口腔ケアや歯周病予防に向けて実施 【概要】事業所の拠点ごとに、出張健診を実施	被保険者	全て	男女	18 ~ 65	全員	14,123	受診者数 5,875名 受診率 65.7%	就業時間内での実施 自己負担は無料	受診率の向上 要治療者の歯科医院の受診勧奨	3
-	-	主婦健診	【目的】婦人科疾患等の予防と早期発見 【概要】35歳から70歳までの主婦を対象に、5歳刻みのインタビューで、全額健保負担で実施	被扶養者	全て	女性	35 ~ 70	基準該当者	15,122	受診者 624名 受診率 55.8%	人間ドック並みの健診項目 自己負担は無料	受診率が伸び悩んでいる	3
-	-	在宅がん検診	【目的】がんの予防及び早期発見 【概要】被保険者及び被扶養者に対し、大腸、肺、子宮がんの郵送健診、乳がんキットの提供を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	9,510	受検者数 大腸がん 2,256名 肺がん 880名 子宮がん 884名 乳がんキット 680名	自宅等で手軽に実施 自己負担は無料	受検者数の増加と回収率の向上	3
-	-	高齢者訪問指導	【目的】医療費適正化と納付金の低減 【概要】在宅の前期高齢者を訪問(2回/年)し、保健指導や健康相談を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~ 74	基準該当者	1,845	対象者 100名(延べ200回)	レポートを活用して、対象者を抽出 自己負担は無料	予算との兼ね合いを見ながらの対象者の拡大。 費用対効果が見えていない	1

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	-	マップウォーキング	【目的】健康の維持・管理と増進 【概要】5ヶ月の期間万歩計を携行し、設定目標を踏破する	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	基準該当者	2,138	参加者 923名 達成者 736名	万歩計を無償提供 賞品は選択可能で、自宅等に配送	漸減傾向にあり、達成者1,000名回復が当面の課題	3
	-	健康づくりサポートプログラム	【目的】マップウォーキング等の合間を補完する健康づくり 【概要】地区ごとにウォーキング及び体力づくりを実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	基準該当者	283	達成者数 351名	ウォーキングをはじめ、各種のスポーツを多様に取り込みことが可能 賞品は生活関連グッズを職場配布	参加者のポトムアップと達成者の増加	2
	3	インフルエンザ予防接種補助金支給	【目的】インフルエンザ予防接種に対し補助金を支給することにより、受診者を増加させ、罹患者を減少させる 【概要】インフルエンザ予防接種者に対し被保険者・被扶養者原則1人2,000円を上限に補助金を支給。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ (上限なし)	全員	17,658	国内でインフルエンザ予防接種を受けた場合に費用の一部を補助する。		システムIPの平準化	-
	3	腹部超音波	【目的】内臓疾患の予防及び早期発見 【概要】健保組合が被保険者に対して日本予防医学協会により年1回提供する健康診断時のオプション検査として実施。 検査費用(税込)から2,000円を控除した金額。	被保険者	全て	男女	- ～ (上限なし)	全員	4,000	成人病検診時のオプション検査として実施。		受診後のフォロー体制の確立	-
	3	乳がん検診	【目的】乳がんの予防及び早期発見 【概要】女性被保険者のうち、健保組合が委託する健診機関により年1回提供する健康診断とは別に自費で医療機関において受診する乳がん検査(マンモグラフィ検査、超音波検査等)が対象。年1回、検査費用(税込)のうち、5,000円を上限に補助	被保険者	全て	女性	- ～ (上限なし)	全員	7,820	乳がん検診受診者に対して補助を行う。			-
体育奨励	-	地区別健康づくり	【目的】地区ごとに、独自の健康づくりを推進する 【概要】地区の事情にあった、健康づくりイベントを実施する	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	369	実施地区 3地区	地区の実情に沿って、健康プランを企画できる	実施地区を全地区に拡大	1
直営保養所	-	仙石高原ピラ	【目的】組合員及び家族等の健康増進 【概要】神奈川県箱根町仙石原に12室52名宿泊できる温泉施設	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ (上限なし)	全員	56,885	利用者数 3,980名	大涌谷の白濁源泉を引き込んでいる 手作り感があるおもてなしと食事	利用者数の減少と施設の老朽化	3

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

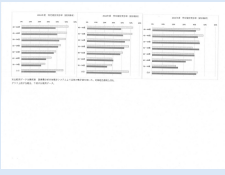
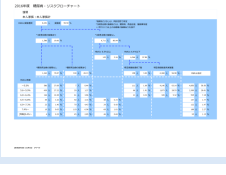
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

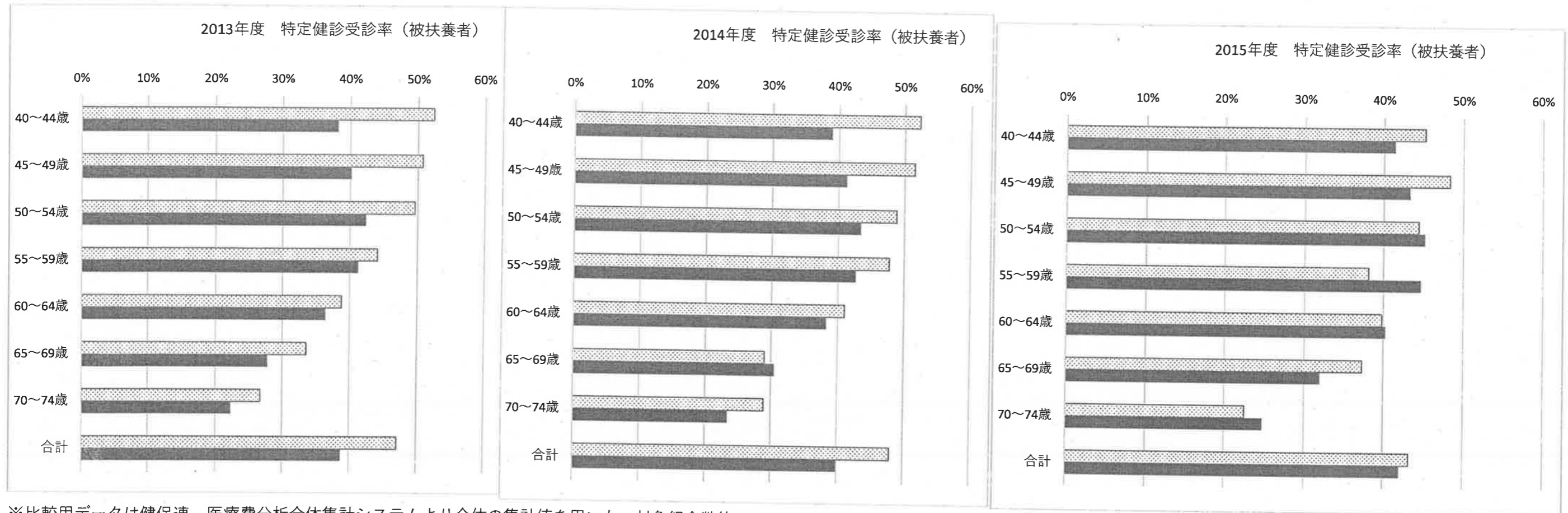
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
<b>事業主の取組</b>								
健康診査	定期健康診断	被保険者	男女	18 ～ 65	受診者数 11,657名 実施率 100%	勤務時間中の受診可 期間中の未受診者には、受診フォローを実施	全国に点在する地区ごとで実施期間が異なるため、異動者が対象外となる可能性がある	有
健康診断事後措置に伴う個別指導	要精密検査、要治療者の検査結果の把握、生活習慣指導	被保険者	男女	18 ～ 65	—	勤務時間中に産業保健職により指導可	対象者が減少しない	有
従業員支援プログラム(EPA)	社員とその家族の心の健康をサポート	被保険者 被扶養者	男女	- ～ -	—	定期的に利用推奨案内を発信	利用者が少ない	有



## STEP1-3 基本分析

### 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		被扶養者受診率	特定健診分析	<ul style="list-style-type: none"><li>・27年度は65～69歳以外は前年より受診率下降 特に40～44歳代で減少が大きい(前年比-7.1%)</li><li>・40代の受診率が高い。</li><li>・55歳以降は受診率が下がってくる→55歳代以上は通院(慢性疾患)の増加で健診未受診者が増加するかもしれない。</li></ul>
イ		脳梗塞/心筋梗塞 リスクフローチャート	医療費・患者数分析	-
ウ		糖尿病リスクフローチャート	医療費・患者数分析	-

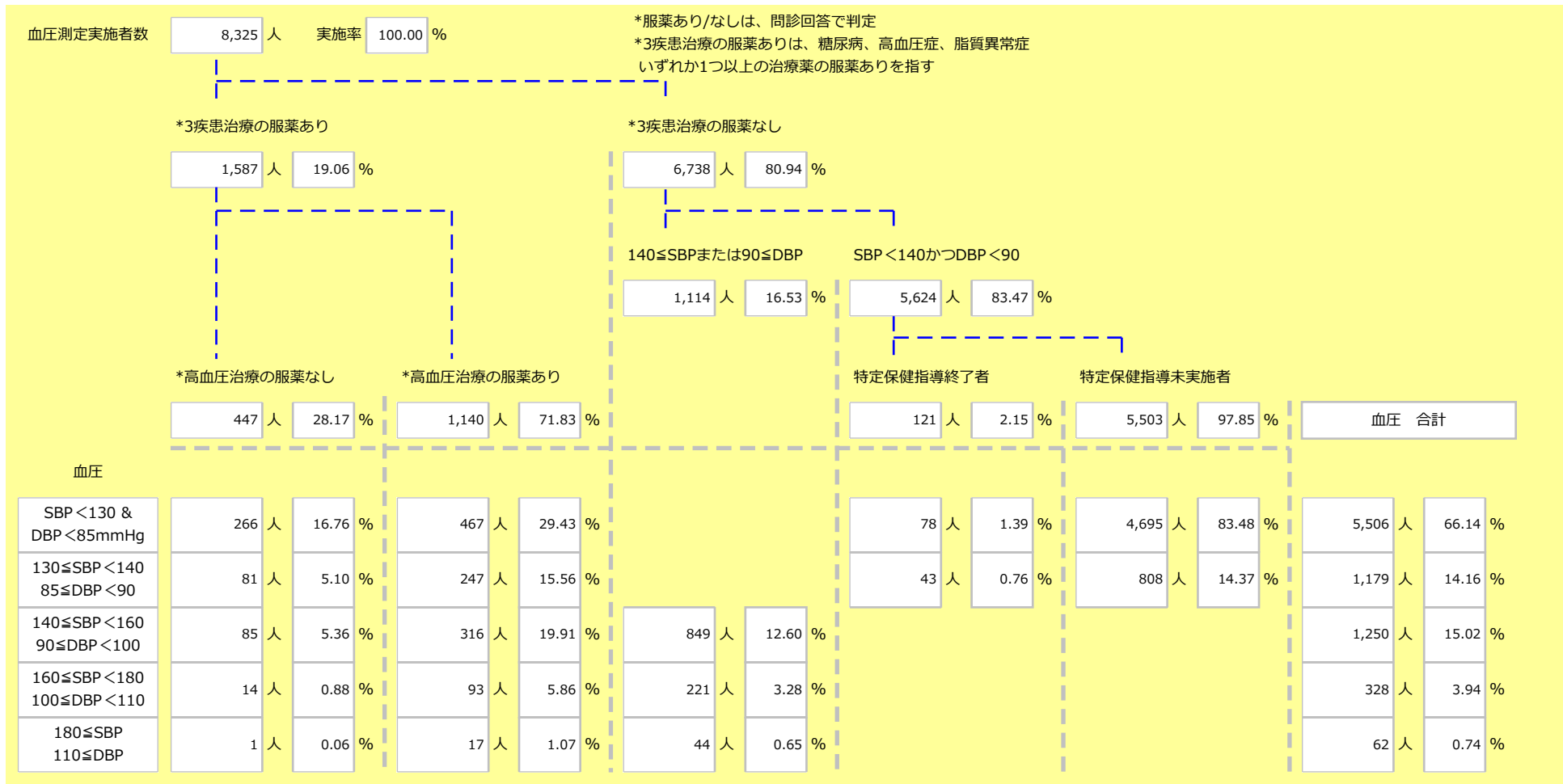


※比較用データは健保連 医療費分析全体集計システムより全体の集計値を用いた。対象組合数約1,000。  
 グラフ上段が当組合、下段が比較用データ。

# 2016年度 脳卒中／心筋梗塞・リスクフローチャート

強制

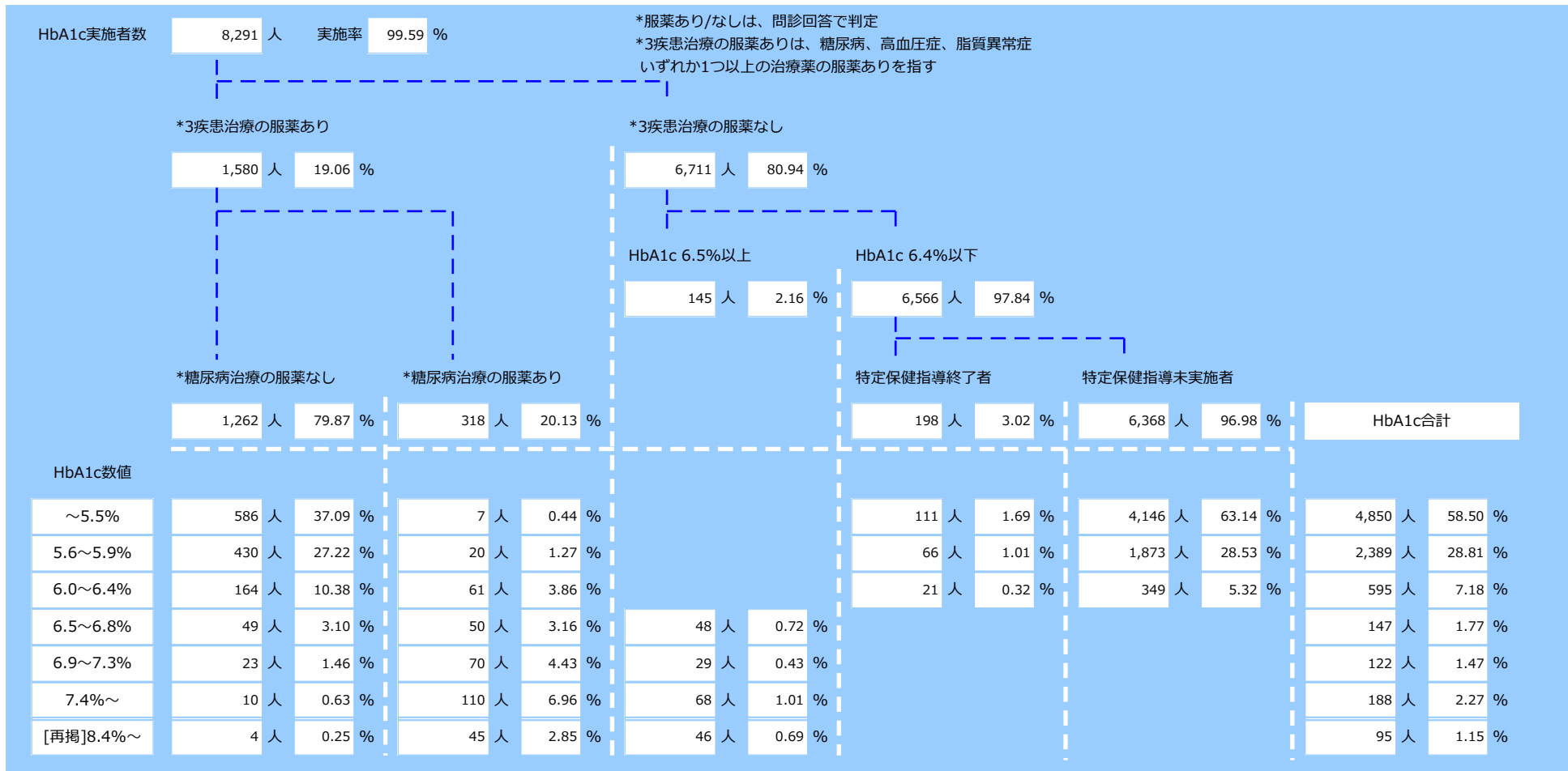
本人家族：本人家族計



# 2016年度 糖尿病・リスクフローチャート

強制

本人家族：本人家族計



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	本人受診率は、比較データのものに比べ同水準が若干下回っている。年齢別では健保連のものが、高齢者が漸減傾向にあるのに対し、ほぼ平均並みの水準を維持している。 家族の受診率は、比較データのをやや上回っている。年齢別にみると、加齢とともに受診率は減少している。	➔	本人については、実態の受診率は概ね100%に近い状況にあるので、この状況を維持していきたい。 家族については、受診率向上のため、関心を持たせる工夫や受診勧奨を検討したい。 なお、統計上の問題については、精度を上げることを目指したい。	✓
2	未選択	循環器系疾患による医療費が高い。	➔	重症化予防のための健診データの活用（受診勧奨）ができていなかった。データの活用を行っていく。	

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

循環器系医療費の削減  
特定健診・特定保健指導の受診率向上

### 事業全体の目標

【目標】循環器疾患の医療費の前年比の伸びを0にする。  
【目標】特定健診受診率90%以上、特定保健指導55%以上。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌
保健指導宣伝	ホームページ

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	口腔健診
疾病予防	主婦健診
疾病予防	在宅がん検診
疾病予防	高齢者訪問指導
疾病予防	マップウォーキング
疾病予防	健康づくりサポートプログラム
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助金
疾病予防	腹部超音波
疾病予防	乳がん検診
体育奨励	地区別健康づくり
直営保養所	仙石高原ピラ

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。



予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
疾病予防	3	既存	生活習慣病健診	全て	男女	35～(上限なし)	被保険者	1	イ	-	ア	-	健診結果とレセプトの突合により、要医療受診者の抽出し(脳卒中、心筋梗塞要注意者/高血圧)受診勧奨を行う。	健診結果とレセプトの突合により、要医療受診者の抽出し(脳卒中、心筋梗塞要注意者/高血圧+糖尿病)受診勧奨を行う。	健診結果とレセプトの突合により、要医療受診者の抽出し(脳卒中、心筋梗塞要注意者/高血圧+糖尿病)受診勧奨を行う。	健診結果とレセプトの突合により、要医療受診者の抽出し(脳卒中、心筋梗塞要注意者/高血圧+糖尿病)受診勧奨を行う。	健診結果とレセプトの突合により、要医療受診者の抽出し(脳卒中、心筋梗塞要注意者/高血圧+糖尿病)受診勧奨を行う。	健診結果とレセプトの突合により、要医療受診者の抽出し(脳卒中、心筋梗塞要注意者/高血圧+糖尿病)受診勧奨を行う。	アウトプット 該当者への医療機関受診勧奨100% アウトカム 医療機関未受診者減少。	循環器系疾患による医療費が高い。
	受診勧奨率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)												受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)							
	3	既存	人間ドック	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	1	ケ	-	サ	-	ドック受診者のリストを作成し、月次にて結果提出の有無を確認し、未提出者への提出依頼を行うことより、特定健診データの受領を行う。	30年度計画に加え、要医療機関受診者のうち未受診者への受診勧奨を行う。	30年度計画に加え、要医療機関受診者のうち未受診者への受診勧奨を行う。	30年度計画に加え、要医療機関受診者のうち未受診者への受診勧奨を行う。	30年度計画に加え、要医療機関受診者のうち未受診者への受診勧奨を行う。	30年度計画に加え、要医療機関受診者のうち未受診者への受診勧奨を行う。	健診結果未提出の削減を進める	循環器系疾患による医療費が高い。
	提出率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)健診データ督促100%												提出率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)健診データの収集100%							
	3	既存	口腔健診	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	イ	-	ア,サ	-	健診データから要医療機関受診者を抽出し、受診勧奨を行う。	健診データから要医療機関受診者を抽出し、受診勧奨を行う。	健診データから要医療機関受診者を抽出し、受診勧奨を行う。	健診データから要医療機関受診者を抽出し、受診勧奨を行う。	健診データから要医療機関受診者を抽出し、受診勧奨を行う。	健診データから要医療機関受診者を抽出し、受診勧奨を行う。	受診勧奨率	該当なし
受診勧奨率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診勧奨100%												受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)要受診者の受診率100%								
3	既存	主婦健診	全て	女性	35～70	被扶養者	1	ケ	-	キ	-	特定健診(被扶養者)と同様の施策を展開する。	特定健診(被扶養者)と同様の施策を展開する。	特定健診(被扶養者)と同様の施策を展開する。	特定健診(被扶養者)と同様の施策を展開する。	特定健診(被扶養者)と同様の施策を展開する。	特定健診(被扶養者)と同様の施策を展開する。	受診率 70%を目標にし、生活習慣病の早期発見、重症化予防を図る。	本人受診率は、比較データのものに比べ同水準か若干下回っている。年齢別では健保連のものが、高齢者が漸減傾向にあるのに対し、ほぼ平均並みの水準を維持している。家族の受診率は、比較データのものをやや上回っている。年齢別みると、加齢とともに受診率は減少している。	
受診率(【実績値】 55.9% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診率 70%												受診率(【実績値】 55.9% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診率 70%								
3	既存	在宅がん検診	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	1	ケ	-	ア	-	通常の案内配布とは別に、申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に被保険者へ受診案内を事業主を通じて行う。	通常の案内配布とは別に、申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に被保険者へ受診案内を事業主を通じて行う。	通常の案内配布とは別に、申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に被保険者へ受診案内を事業主を通じて行う。	通常の案内配布とは別に、申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に被保険者へ受診案内を事業主を通じて行う。	通常の案内配布とは別に、申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に被保険者へ受診案内を事業主を通じて行う。	通常の案内配布とは別に、申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に被保険者へ受診案内を事業主を通じて行う。	癌の早期発見の為、受診率の向上を図る	該当なし	
案内発信事業所数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：54社 令和元年度：54社 令和2年度：54社 令和3年度：54社 令和4年度：54社 令和5年度：54社)												受診者数(【実績値】 2,914人 【目標値】平成30年度：4,000人 令和元年度：4,000人 令和2年度：4,000人 令和3年度：4,000人 令和4年度：4,000人 令和5年度：4,000人)被保険者乳がん検診は他の保健事業へ移行(H29)								
4	既存	高齢者訪問指導	全て	男女	65～74	基準該当者	1	ク	-	キ	-	在宅の前期高齢者を訪問(2回/年)し、保健指導や健康相談を実施	在宅の前期高齢者を訪問(2回/年)し、保健指導や健康相談を実施	在宅の前期高齢者を訪問(2回/年)し、保健指導や健康相談を実施	在宅の前期高齢者を訪問(2回/年)し、保健指導や健康相談を実施	在宅の前期高齢者を訪問(2回/年)し、保健指導や健康相談を実施	在宅の前期高齢者を訪問(2回/年)し、保健指導や健康相談を実施	医療費適正化と納付金の低減	本人受診率は、比較データのものに比べ同水準か若干下回っている。年齢別では健保連のものが、高齢者が漸減傾向にあるのに対し、ほぼ平均並みの水準を維持している。家族の受診率は、比較データのものをやや上回っている。年齢別みると、加齢とともに受診率は減少している。	
指導者人数(【実績値】 100人 【目標値】平成30年度：200人 令和元年度：200人 令和2年度：200人 令和3年度：200人 令和4年度：200人 令和5年度：200人)対象者 150名(延べ300回)												指導者人数(【実績値】 100人 【目標値】平成30年度：150人 令和元年度：150人 令和2年度：150人 令和3年度：200人 令和4年度：200人 令和5年度：200人)								
2	既存	マップウォーキング	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	従来案内とは別に、被保険者に申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に、事業主を通じて参加案内を発信。	従来案内とは別に、被保険者に申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に、事業主を通じて参加案内を発信。	従来案内とは別に、被保険者に申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に、事業主を通じて参加案内を発信。	従来案内とは別に、被保険者に申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に、事業主を通じて参加案内を発信。	従来案内とは別に、被保険者に申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に、事業主を通じて参加案内を発信。	従来案内とは別に、被保険者に申込み期間前、申込期間中、申込み期間終了前に、事業主を通じて参加案内を発信。	運動を習慣づけて、生活習慣病予防を図る	循環器系疾患による医療費が高い。	



予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラ クチャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
案内発信事業所数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：54社 令和元年度：54社 令和2年度：54社 令和3年度：54社 令和4年度：54社 令和5年度：54社)-												達成者人数(【実績値】736人 【目標値】平成30年度：1,000人 令和元年度：1,000人 令和2年度：1,000人 令和3年度：1,000人 令和4年度：1,000人 令和5年度：1,000人)達成者 1,000名							
2	既存	健康づくりサ ポートプログラ ム	全て	男女	18 ～ (上 限 なし)	被保険 者,被扶 養者	1	ス	-	ス	-	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	地区ごとに、独自の健康づくりを推進し、 生活習慣病予防を図る	循環器系疾患による医療費が高い 。
案内発信事業所数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：54社 令和元年度：54社 令和2年度：54社 令和3年度：54社 令和4年度：54社 令和5年度：54社)-												達成者人数(【実績値】351人 【目標値】平成30年度：500人 令和元年度：500人 令和2年度：500人 令和3年度：500人 令和4年度：500人 令和5年度：500人)-							
3,8	既存	インフルエン ザ予防接種補 助金	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	シ	-	ア	-	受診者が増加する10月～1 2月に事業主をつうじて案 内を送付。(月1回)	受診者が増加する10月～1 2月に事業主をつうじて案 内を送付。(月1回)	受診者が増加する10月～1 2月に事業主をつうじて案 内を送付。(月1回)	受診者が増加する10月～1 2月に事業主をつうじて案 内を送付。(月1回)	受診者が増加する10月～1 2月に事業主をつうじて案 内を送付。(月1回)	受診者が増加する10月～1 2月に事業主をつうじて案 内を送付。(月1回)	インフルエンザ罹患数を減少させて医療 費削減を行う	循環器系疾患による医療費が高い 。
案内発信事業所数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：54社 令和元年度：54社 令和2年度：54社 令和3年度：54社 令和4年度：54社 令和5年度：54社)-												受診者数(【実績値】5,005人 【目標値】平成30年度：8,829人 令和元年度：8,829人 令和2年度：8,829人 令和3年度：8,829人 令和4年度：8,829人 令和5年度：8,829人)-							
3	既存	腹部超音波	全て	男女	16 ～ (上 限 なし)	被保険 者	1	ケ	-	ア	-	被保険者へ、事業主を通 じて受診勧奨を、健診前 に行う。	被保険者へ、事業主を通 じて受診勧奨を、健診前 に行う。	被保険者へ、事業主を通 じて受診勧奨を、健診前 に行う。	被保険者へ、事業主を通 じて受診勧奨を、健診前 に行う。	被保険者へ、事業主を通 じて受診勧奨を、健診前 に行う。	被保険者へ、事業主を通 じて受診勧奨を、健診前 に行う。	腹部超音波検査を受診することより内臓疾 病の早期発見を行い重症化予防を推進する	該当なし
案内発信事業所数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：54社 令和元年度：54社 令和2年度：54社 令和3年度：54社 令和4年度：54社 令和5年度：54社)-												受診者数(【実績値】1,956人 【目標値】平成30年度：2,500人 令和元年度：2,500人 令和2年度：2,500人 令和3年度：2,500人 令和4年度：2,500人 令和5年度：2,500人)-							
3	既存	乳がん検診	全て	女性	16 ～ (上 限 なし)	被保険 者	1	ウ	-	ス	-	4月7月10月1月に事業主を 通じて受診勧奨を行う。	4月7月10月1月に事業主を 通じて受診勧奨を行う。	4月7月10月1月に事業主を 通じて受診勧奨を行う。	4月7月10月1月に事業主を 通じて受診勧奨を行う。	4月7月10月1月に事業主を 通じて受診勧奨を行う。	4月7月10月1月に事業主を 通じて受診勧奨を行う。	乳がん検診の受診を増加させ、乳がんの早 期発見と重症化を予防する。	該当なし
案内発信事業所数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：54社 令和元年度：54社 令和2年度：54社 令和3年度：54社 令和4年度：54社 令和5年度：54社)-												受診者数(【実績値】60人 【目標値】平成30年度：1,564人 令和元年度：1,564人 令和2年度：1,564人 令和3年度：1,564人 令和4年度：1,564人 令和5年度：1,564人)-							
2	既存	地区別健康づ くり	全て	男女	0 ～ 74	被保険 者	1	ア	-	ア	-	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	従来のご案内とは別に、被 保険者に申込み期間前、 申込期間中、申込み期間 終了前に、事業主を通じ て参加案内を発信。	地区ごとに、独自の健康づくりを推進し、 生活習慣病予防を図る。	循環器系疾患による医療費が高い 。
実施地区数(【実績値】3地区 【目標値】平成30年度：3地区 令和元年度：4地区 令和2年度：4地区 令和3年度：4地区 令和4年度：4地区 令和5年度：4地区)-												各地区で健康づくりを行うものだが、行事としての意味合いもありアウトプットを設定することが難しい (アウトカムは設定されていません)							
8	既存	仙石高原ビラ	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	ス	-	サ,ス	-	神奈川県箱根町仙石原に1 2室52名宿泊できる温泉施 設を運営し、心身のリフ レッシュを図り疾病予防 を推進する	神奈川県箱根町仙石原に1 2室52名宿泊できる温泉施 設を運営し、心身のリフ レッシュを図り疾病予防 を推進する	神奈川県箱根町仙石原に1 2室52名宿泊できる温泉施 設を運営し、心身のリフ レッシュを図り疾病予防 を推進する	神奈川県箱根町仙石原に1 2室52名宿泊できる温泉施 設を運営し、心身のリフ レッシュを図り疾病予防 を推進する	神奈川県箱根町仙石原に1 2室52名宿泊できる温泉施 設を運営し、心身のリフ レッシュを図り疾病予防 を推進する	神奈川県箱根町仙石原に1 2室52名宿泊できる温泉施 設を運営し、心身のリフ レッシュを図り疾病予防 を推進する	組合員及び家族等の健康増進	該当なし
利用者数(【実績値】3,571人 【目標値】平成30年度：4,000人 令和元年度：4,000人 令和2年度：4,000人 令和3年度：4,000人 令和4年度：4,000人 令和5年度：4,000人)-												心身のリフレッシュが目的であり、利用者数が増加すること等により健康増進が数値で見えるとは考えづらい為 (アウトカムは設定されていません)							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施  
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築  
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他